

白杵石仏

熊谷九寿

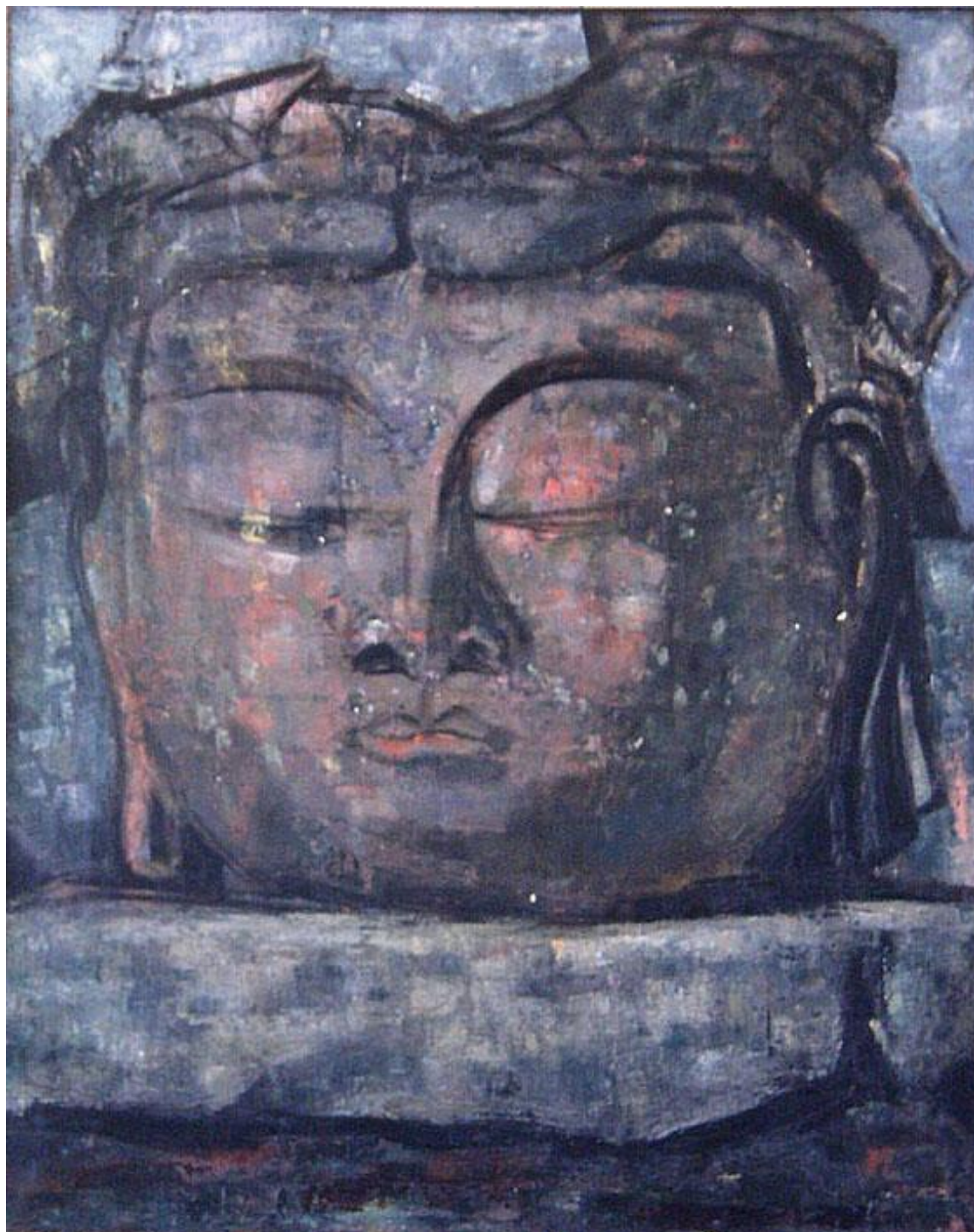
制作年：1955(昭和30)年

サイズ：100.0×80.3cm

材質：油彩、カンヴァス

所蔵：中津市木村記念美術館

1993(平成5)年中津市に寄贈される。



大分県臼杵市の石仏群の中で代表的な大日如来です。現在は復元されていますが、熊谷が絵にした頃は首が胴体から離れていました。石仏のふっくらと豊かな頬が堅固な輪郭線と充実した筆致で描かれています。熊谷はしばしば帰郷していたようですが、この「臼杵石仏」も「耶馬溪」と並んで熊谷と郷里の関係を考える上で重要な画題と思われます。熊谷はこの作品とは異なる構図の「臼杵石仏(大日如来)」を第30回国画会展に出品しました。